

## 第9回小田原城天守閣耐震改修等検討委員会議事録

- ◆ 日 時 平成25年3月28日(木) 午後1時30分から3時00分まで
- ◆ 場 所 小田原市郷土文化館 会議室
- ◆ 出席者 19名(委員:5名、事務局:5名、オブザーバー:9名)
  - <委員> 榎谷委員長、西委員、鳥居委員、矢島委員、飯沼委員
  - <事務局> 長谷川経済部長、鶴田経済副部長、杉本観光課長  
諏訪間専門監、片野主査
  - <オブザーバー> 神奈川県教育委員会文化遺産課 谷口副主幹  
文化財保存計画協会 赤澤主任研究員、崔技術員  
大島文化財課副課長、戸倉建築指導課副課長  
志村文化政策課市民ホール建設係長、飯澤建築課施設計画係長  
栢沼企画政策課政策担当副課長、岡生涯学習課郷土文化館係長
- ◆ 欠席者 3名(後藤副委員長、小出委員、木村委員)
- ◆ 傍聴者 1名
- ◆ 次 第
  - 1 議題
    - (1) 小田原城天守閣の展示改修の考え方について(資料1)
    - (2) 小田原城天守閣の耐震改修の工法の比較について(資料2)
  - 2 報告事項
    - (1) 耐震スリット工事について(資料3)
  - 3 その他
    - (1) 平成25年度のスケジュールについて(資料4)
- ◆ 資 料
  - 資料1 小田原城天守閣の展示改修の考え方について
  - 資料2 小田原城天守閣の耐震改修の工法の比較について
  - 資料3 耐震スリット工事について
  - 資料4 平成25年度小田原城天守閣耐震改修等検討委員会スケジュール案

## ◆ 概 要

### 1 開会（榎谷委員長）

それでは、これより第9回小田原城天守閣耐震改修等検討委員会を開催いたします。

### 2 会議の公開等について（要旨）

榎谷委員長より、今回の会議も公開とすることで説明がなされ、了承された。  
（傍聴者既入室）。

### 3 資料の確認について

事務局より、資料の確認がなされた。

### 4 議事（議事進行：榎谷委員長）

#### （1）小田原城天守閣の展示改修の考え方について（資料1）

事務局より、資料1について説明。（要旨）

- ・ 天守閣は、耐震診断の結果に基づき、前回の委員会までに耐震補強工法の検討を行い、耐震壁の設置を中心とする強度型補強を行う方向が示された。
- ・ これにより展示スペースの大幅な縮小が想定されることを踏まえて、展示改修を行う際の基本的な考え方は次のとおりとしたい。
- ・ 天守閣の耐震改修に伴う展示改修は、将来の木造化を見据えて必要最低限とするが、年間40万人を超える有料施設であり、小田原城や小田原の歴史を伝える歴史系資料館としての一定レベルの展示にする必要がある。
- ・ 木造化の方向性が見えるまでには、10年単位の時間がかかるため、耐震改修はしっかり実施するが、展示改修は一定のレベルを確保しながら低コストで実施するという方向性を考えている。
- ・ 耐震壁の設置により、展示空間や動線の変更が必要となるが、昨年検討の中でも出ていた4階の売店を1階に移動し、4階は休憩スペースとともに、観光ガイダンススペースに位置付ける。
- ・ 1階に展示してある、伝統工芸・物産関係の資料については大幅な縮小もしくは廃止を検討する。

《質疑応答の要旨》

- 鳥居委員 耐震改修により展示面積が減ると言う事だが、現状の展示面積に対してどのくらい減るのか。
- 事務局 耐震壁のある場所で展示面積を確保すると、その影響により通路が狭くなる。通路が狭い状況であれば、それほど展示面積は変わらない
- 鳥居委員 資料1に「展示スペースの大幅な縮小」と表記するのであれば、現状が何平米であり、想定で何平米減少するかなどの書き方でないと資料としておかしい。展示改修の考え方として、耐震工事をするから展示面積が減少する、将来の木造化を見据えて必要最低限とすることは理解できる。ただ展示の基本的な考え方がどこにも書いていない。小田原城天守閣の今後の展示は、こうあるべきだとか、今まで数十年の展示の中で、こういう点が改善すべき点ある、それに向けて改善する方向はこうだというような、問題点の検討がないまま、歴史系資料館とすると表現している。また、基本的な検討がないまま、具体的なレイアウトが、いきなり出てくるなど、展示計画としては中間の作業がそっくり抜けている。当然、考えがあって、資料のようなレイアウトにしたと思うが、記入されていない考え方があるのであれば、聞かせて欲しい。そこまで検討していないのであれば、おっしゃらなくて結構である。
- 事務局 前回の会議から耐震壁の位置をさらに検討したことで、時間が経過してしまい、展示の基本的な考え方まで、詳細に詰めていない。本来であれば今回の資料が出来た時点で、展示専門の委員に個別に相談するべきでしたが、作業が遅れてしまい事前の相談ができていない状況で今回の会議となってしまったので、大変申し訳なかった。
- 鳥居委員 事務局からの説明で出た「小田原城の展示にふさわしい」というのは、ひとつの方向性であるが、その方向性に対して言葉で裏づけしないといけないと思う。また、誰に対して展示を行うのかという対象者の想定も展示の基本的な考え方として重要になると思う。
- 木造を見据えてというのは何年後なのか。
- 事務局 木造の話は、別に動き出すため、今のところ申し上げることはできないが、普通に考えて10年もしくは10数年かかる話である。
- 鳥居委員 木造化は10年単位の長期にわたることは理解する。10年・15年の数字は、通常、展示のサイクルで言えばリニューアルしなければいけない期間である。そう考えると、とりあえずという期間ではない。もう少しきちんとした計画を立てないといけない。
- 榎谷委員長 今までは、オープンスペースで展示をしていたところに、耐震壁が出来ることで分断されてしまう欠点がある。壁ができることで、展示にどのような影響を受けるのかなどを、改修のときには踏み込んで考えないといけない。
- 鳥居委員 展示面積は、全部足して何平米というカウントの仕方もあるが、部屋単位で考えたほうが現実的である。大体何平米の空間があるかで、具体的な展示計画が立

てられる。また、広い空間だと逆に展示しにくいために、壁をつくることもある。動かすことができない壁で仕切られた空間は、どれくらい確保できるかという数字は今後必要になってくる。

西委員 将来の木造化を見据えてという表現は、勇み足ではないかと感じるので、表現を変えていただいた方がよい。耐震改修はせざるを得ない訳であるが、現状の展示が良いかとなると、決して良くはない。コストを掛けないのはいいが、耐震改修をいい機会に、もう少し良い展示にするというプラス思考でやった方がよい。コストを掛けられない事情はわかるが、この際、可能な限り良い展示にしたいという表現にしていきたい。

矢島委員 言葉の端々を見、図面を見れば大体考えていることは分かるが、それをきちんと文章化した方がよい。資料の中で、伝統工芸・物産関係は大幅な縮小もしくは廃止を検討するという、現状の展示についてのある種の踏み込んだ評価と反省が出ている訳であるが、それと同時に他の展示についても、同じような形で、現状の問題があるのか、どのように整理して小田原城と小田原の歴史を伝える歴史系資料館としてという言葉と対応する中身を、きちんと出す必要がある。

改修案 A と B で、展示構成の中で B には小田原の歴史があるが A にはない。A は、小田原城と北条五代、戦国の合戦と非常にクリアにまとまっているが、B の方は、売店を狭くしてシアターを 1 階に設け、1 階に小田原歴史という項目をいれているが、これは積極的な考え方があっての提案なのか、A と B との違いはどのような考えで 2 つの案があるのか説明いただきたい。

事務局 いまひとつ整理できていない

矢島委員 この 2 案を見たときに、A は、城とそれにまつわる非常にクリアに課題を整理している。こういう形を一つ計画として出すのか、また B は、郷土文化館を含めた市の持っている他の施設との関係から、城だけでなく他の文化財も入れなければならないという考えの提案なのかが、読みきれなかった。この点の説明がないと、どちらが良いと言われても困る。

事務局 資料 1 の図面や表は、表現がまだ精査されていなく、議論をいただいたうえで落としていくところである。

今回委員の皆様には、①耐震改修で強度型補強が示されたので、展示スペースは縮小せざるを得ない。②将来の木造化を見据えての表現が踏み込みすぎではないかとの意見から、展示改修は、木造化の研究の動きもあることから必要最小限という表現。③展示は縮小せざるを得ない、必要最小限となると、小田原城や小田原の歴史を伝える歴史系資料館として整備する必要がある。以上 3 点について、皆様の共通認識として確認願いたい。

榎谷委員長 提案の A 案 B 案について、今日決めなくていいか。

事務局 ただ今、申し上げた展示に関する基本的な方向性については、今年度の委員会のご意見として基本計画に反映させたいと考えている。

榎谷委員長 今日はご意見をお伺いするまでに留めたい。

- 鳥居委員 歴史系資料館としてという言葉になっているが、歴史系資料館にしようとしているのか歴史的な展示を行う施設になるのか。
- 事務局 歴史的な資料を展示する施設です。
- 鳥居委員 公式の資料に使う言葉だから精査して使っていただきたい。また、伝統工芸・物産の資料については大幅な縮小もしくは廃止を検討すると書いてあるが、観光課所管の施設として廃止、縮小は是かとの検討は必要では。天守閣という施設を活用するためには理念があると思うが、それにかかってくる問題だと思うので、簡単に決めて良いのか気になる場所である。また、展示だけが関係することではないが、バリアフリーの問題も整理していかなければならない。
- さらに、改修案Bのシアターと売店が一緒にあるというプランが示されているが、運用している場面を想定すると、うるさくて聞くことができない。映像を見せる場合、音量を必要最小限にするため、売店で買い物している人の会話と重なる。また、売店にいる人もシアターの音が聞こえ、両方でうるさと感じるのでは、レイアウトは実際の場面を想定して考えないといけない。
- 観光ガイド導入が4階になっているが、普通最初にするものでないか。売店が4階にあるのがおかしいとの意見があつて移したとのことだが、検討・検証がされてないのではないか。レイアウトは大きな問題なのでもう少し考えていただきたい。
- 事務局 至らない部分があつたが、今回の会議までに鳥居委員のお知恵をいただきながら整理させていただき、次回会議までにお示しさせていただきたいと考えておりますがそのようなかたちでよろしいか。
- 榎谷委員長 皆様のご意見を聞いて、まとめて鳥居委員にご相談するのがいいと思うので、今日は意見を出していただき、反映させていただきたい。
- ご意見をお伺いする
- 飯沼委員 今売店はどのようなものが売られているのか。
- 事務局 コインの印刷機やキーホルダー、Tシャツなどのお土産屋のようなものになる。寄木細工などもあり、売店業者が開発し北条五代関係のグッズなども増えてきている。現在、観光的なお土産物が多いが、歴史好きな方たちが来るようミュージアムショップ的な本なども含めて充実させるような方向性も検討していきたい。
- 榎谷委員長 以前にも観光の情報源となるようなものを売店に集めるということは非常にいいという意見もあった。
- 売店の位置の問題もあり、休憩観光ガイドについてご意見をお伺いする
- 他の天守閣の利用の仕方はどのようになっているか調べていると思うが、小田原としてはどういう形がいいのか参考資料としてご検討いただくとよろしいのではないかと思う。
- 事務局 そういった内容も踏まえて、今回提案させていただいている。成功事例として展示をすっきりさせることが多い。天守閣の実物展示を減らしていくかたちが進んでいる。

- 榎谷委員長 展示物によって機能性が違うため、展示の方法を踏まえ見やすいようにすることが観光客にとっていいのではないかと思う。
- 事務局 1階は小田原城の説明や市として史跡整備を行っている姿の紹介、2階は北条五代の紹介、3階は武具甲冑の展示とし、これらを中心にするが物産など取り入れられたらと考えている。
- 鳥居委員 物産は実物でなく映像でもいいのでは。
- 事務局 4階の観光ガイドのなかに作りたい。
- 鳥居委員 観光客に小田原を紹介することは有効だと思うが、広く行うのではなく、小田原城に登ってきた人に対しては小田原城を中心とした歴史を紹介したほうが理解しやすいと思う。
- 事務局 次回までに事務局案を作成し諮らせていただきたい。  
基本計画については、本日の議論を踏まえ取りまとめをし、来年度の基本設計でより具体的な方向性を進めていきたいので、ご理解いただきたい。

## (2) 小田原城天守閣の耐震改修の工法の比較について(資料2)

事務局より、資料2について説明。(要旨)

- ・ 前回耐震工法について検討したが、免震工法について、一部訂正があった。
- ・ 前回の資料では、直接工事費が約4億円であったが、これは諸経費・仮設費を一部入れた金額であるため、諸経費などを除いた直接工事費は2.4億円であったので訂正する。
- ・ ただ、外観に影響が出るため、史跡の現状変更の許可を得ることや仮設規模が大きくなるため、費用的にも採用は難しいと考える。

### 《質疑応答の要旨》

- 榎谷委員長 開口のある壁と無開口の壁があるが機能上開口を設けているのか。
- 事務局 出入口が必要な箇所は設けている。
- 榎谷委員長 資料2の改修案Aの中4階壁に開口部があるが必要なのか。
- 事務局 開口もできるという意味合いなので塞いでも問題ないが、展示品や動線の関係もあるため耐震壁のことだけでなく、良い工法を一つずつ積み上げていきたい。
- 榎谷委員長 バリアフリーの問題と同時に壁の問題があるため今後検討していく。
- 事務局 バリアフリーについては、コストの問題をどう考えるか、またどの時点で判断するかになる。耐震改修の基本は、安全確保が第一で大規模な改修はしないためコストをいかに下げるかが手腕になる。
- 鳥居委員 構造上車椅子で4階までは難しいが、1階までは見てもらうような選択もある。
- 事務局 土日には3,000人を超える来場者がいる。階段下まで並ぶ状況で、バリアフリーを導入するのかということになる。
- 鳥居委員 1階から2階に上がる外側の階段があるのでこれを利用して上がることは不可能なのか。これを利用すれば1階から2階まで見ることができるのではないか。

- 事務局 図面を含めて整理させていただきたい。
- 鳥居委員 現在空調はない状況だが、改修後はどのように考えているか。
- 事務局 導入したいと考えている。室外機設置により史跡としての景観の問題をクリアしなければならない。現在、室外機がないタイプを中心に検討中のため、方向性が出ていないが、展示も含め来場者に快適に過ごしていただくために解消していきたい。
- 安全確保に1日も早く耐震化をしなければいけない状況の中で、意見を総合的に考え耐震を早めに対応しなければならない。それ以外については、できる限りコストを抑えないといけない。
- 飯沼委員 小田原のシンボルである小田原城を改修するからには、文章の表現などコストをかけられなくても以前より良くなったというような書き方にさせていただき、実際にそうなるようになってもらいたい。

## 5 報告事項（進行：榎谷委員長）

### (1) 耐震スリット工事について（資料3）

事務局より、資料3について説明。（要旨）

- ・ 前回の委員会で、耐震診断を実施した結果、特に2階部分について、数値が他の階に比べ低く、本格的な耐震工事に先立ち、耐震補強をする必要があることから、先行的耐震措置として「耐震スリット」を、前回の委員会で承認されるところである。
- ・ 委員会終了後、直ちに工事の準備に入り、耐震スリット工事を実施した。
- ・ 天守閣を開館しながら工事を実施したので、特に音の出る作業、施工写真①～③の作業については、閉館後の夜間に実施し、その他の作業は、観光客に配慮しながら開館中の昼間に実施した。

#### 《質疑応答の要旨》

榎谷委員長 壁の厚さは何mmか。

事務局 120mmです。

## 6 その他（事務局）

### (1) 平成25年度のスケジュールについて（資料4）

事務局より、資料4について説明。（要旨）

- ・ 平成25年度は、実施設計のもとになる基本設計業務を実施します。今まで議論してきた耐震工法や展示計画などの内容をさらに絞り込んで決定し、26年度の実施設計、27年度の耐震改修・展示改修を行う予定である。
- ・ 25年度は、基本設計業務の進捗にあわせて、9月に第10回、10月に第11

回、12月に第12回の検討委員会を持たせていただく予定でいる。

- ・ なお、耐震診断の結果から、出来るだけ早期に耐震補強を実施する必要があることから、基本設計、実施設計、改修工事については、補正予算での対応を検討しており、議会で承認をいただき予算が確定次第、直ちに契約手続きに入り、可能な限り早急な耐震改修等を実施したいと考えている。

《質疑応答の要旨》

- 鳥居委員            スケジュール案に検討委員会で検討する項目を入れていただきたい。
- 事務局                資料は個別にご連絡させていただきたい。
- 槇谷委員長           1年間早めて可能となった理由はなにか。
- 事務局                耐震工事を27年度、展示工事を28年度と2年間かける予定だったが、27年度にまとめた。しかし想定の範囲でしかないため詰めなければいけない。
- 鳥居委員               27年度に2つの工事を収めた点は、休館期間を短くするためなのか。
- 事務局                はい。また、耐震診断の結果、数値が悪く応急的に耐震スリットを入れており、数値が残っているので1日でも早くしなければならぬため27年度までに終了させることで進めたい。

以上